

## Linux ゲートウェイ Ver5.20 アップグレードガイド

### はじめに

本書では、「エフセキュア アンチウイルス Linux ゲートウェイ」の Ver4 から Ver5.20 へのバージョンアップの方法について説明します。

### 1. 事前準備

root ユーザで、以下の手順を実行します。

1. 製品のインストールディレクトリに移動し、設定のバックアップを取得します。

```
# cd <インストールディレクトリ>
# tar zcf conf-bak.tgz conf/
# cp conf-bak.tgz <バックアップ先ディレクトリ>./
```

2. Ver4 をアンインストールします。

```
# cd <インストールディレクトリ>
# make uninstall
# rm -rf <インストールディレクトリ>
```

\* rpm パッケージでインストールしていた場合、以下のコマンドも実行します。

```
# rpm -e virusgw
```

\* deb パッケージでインストールしていた場合、以下のコマンドも実行します。

```
# dpkg -r virusgw
```

## 2. Ver5 のインストール

Ver5 以降では、fsigk というパッケージにパッケージ名が変更になっています。また、rpm でもインストール先や、tar ボールでのデフォルトのインストール先は、/opt/f-secure/fsigk に変更されています。

### 2.1 tar ボールでインストールを行う場合

1. インストールディレクトリを事前に作成します。

```
# mkdir -p <インストールディレクトリ>
```

2. バックアップした conf ディレクトリをインストールディレクトリにコピーします。

```
# cd <インストールディレクトリ>
# cp <バックアップ先ディレクトリ>/conf-bak.tgz .
# tar zxvf conf-bak.tgz
```

3. conf/virusgw.ini を conf/fsigk.ini にファイル名を変更します。

```
# cd conf
# mv virusgw.ini fsigk.ini
```

4. Ver5 をインストールします。tar ファイル名は、実際に使用するものに読み替えてください。インストールディレクトリがデフォルト (/opt/f-secure/fsigk) の場合、prefix オプションは不要です。

```
# cd <tar ボール保存ディレクトリ>
# tar zxvf fsigk-5.xx.x.tar.gz
# cd fsigk-5.xx.x
# make install prefix=<インストールディレクトリ>
```

## 2.2 rpm パッケージでインストールを行う場合

1. インストールディレクトリを事前に作成します。

```
# mkdir -p /opt/f-secure/fsigk
```

2. バックアップした conf ディレクトリをインストールディレクトリにコピーします。

```
# cd /opt/f-secure/fsigk  
# cp <バックアップ先ディレクトリ>/conf-bak.tgz .  
# tar zxvf conf-bak.tgz
```

3. conf/virusgw.ini を conf/fsigk.ini にファイル名を変更します。

```
# cd conf  
# mv virusgw.ini fsigk.ini
```

4. Ver5 をインストールします。rpm ファイル名は、実際に利用するものに読み替えてください。

```
# cd <rpm ファイル保存ディレクトリ>  
# rpm -Uvh fsigk-5.xx.x-x.i386.rpm
```

注) rpm パッケージでインストールを行った場合、fsigk.ini の内容以外は、工場出荷時に戻されます。（スパムのカスタム設定、アクセス制御設定など）

古い設定ファイルは.rpmorig という拡張子を付与して残してありますので、必要に応じてファイルを差し替えてください。

設定を引き継ぎたい場合は、tar パッケージを利用してインストールを行ってください。

### 3. Ver4 差し戻し手順

Ver5 アップグレード後に問題があった場合や、上記手順で問題があった場合、バックアップした conf ファイルを使い、以前に使用していた Ver4 に差し戻すことが可能です。

1. Ver5 をアンインストールします。

```
# cd <インストールディレクトリ>
# make uninstall
```

\* rpm パッケージでインストールしていた場合、以下のコマンドも実行します。  
# rpm -e fsigk

2. 以前に使用していた Ver4 をインストールします。インストール方法については、Ver4 のマニュアルをご参照ください。

3. conf ディレクトリをバックアップのものと差し替えます。

```
# cd <インストールディレクトリ>
# mv conf conf-orig
# cp <バックアップ先ディレクトリ>/conf-bak.tgz .
# tar zxvf conf-bak.tgz
```

4. サービスの再起動を行います。

```
# cd <インストールディレクトリ>
# make restart
```

**●免責**

本書に記載された内容は、情報の提供だけを目的としています。したがって本書を用いた運用は必ずお客様自身の責任と判断により行ってください。これらの情報の運用の結果についてはエフセキュア株式会社はいかなる責任も負いません。本書の作成にあたっては細心の注意を払っていますが、記述に誤りや欠落があってもエフセキュア株式会社はいかなる責任も負わないものとします。

本書は 2014 年 11 月時点の情報を基に記述されており、ご利用時に変更されている場合もあります。

**●商標**

エフセキュア及び三角マークは、F-Secure Corporation の登録商標です。また、エフセキュアの製品名、マーク、ロゴは同社の商標または登録商標です。その他、記載されている、製品名、社名は各社の商標または登録商標です。

以上

2014 年 11 月

エフセキュア株式会社

プロダクトグループ

富安洋介